

モーセン・ナガヴィ教授 来日特別講演

世界の疾病負荷研究 *Global Burden of Disease*

エビデンスを生み出し 政策を導く

2025年10月28日(火)

時間 18:00～19:00

会場 慶應義塾大学 予防医学校舎3階講堂 (信濃町キャンパス)

主催 慶應義塾大学 医学部

世界の疾病負荷研究 (GBD) は、病気やけがによる健康への影響を網羅的に定量化し、政策形成に貢献する世界最大規模の国際プロジェクトです。167の国と地域から17,000人以上の研究者が参加し、その成果は **The Lancet 特集号** として発表されており、今年12日、最新の成果である GBD2023 が同誌で発表されました。慶應義塾大学医学部は日本初の公式 GBD 拠点として連携しています。本講演では、GBD を牽引するモーセン・ナガヴィ教授が最新の知見を紹介します。



Institute for Health
Metrics and Evaluation



Dr. Mohsen Naghavi

Professor, Health Metrics Sciences,
IHME, University of Washington

事前登録 ▶

こちらの[リンク](#)より
お申し込みください

